



琥珀で勾玉作り体験



完成イメージ

勾玉の歴史は古く、起源としては縄文時代までさかのぼります。その後、勾玉と管玉・小玉を組み合わせた首飾りの歴史は、2千年近くも続きました。

勾玉はかつて権力者の威信材として持たれたもので、権力を示すとともに、魔除けの意味も持っていました。

今回は、**再生琥珀**を素材に縦2×横1×長3センチの勾玉1点を製作していただき、コバルトブルーのガラス玉と管玉をつけて古代をイメージした、オリジナルペンダントにしてお持ち帰りいただきます。



琥珀勾玉の製作例

再生琥珀とは・・・

加工した琥珀の粉末を集め、溶かして圧力を加えて固めたもので、成分的には天然琥珀と同質の素材です。

- 日時 令和元年8月24日(土) 午前10時00分～12時30分
- 場所 風土記の丘研修センター実習室
- 募集定員 16歳以上の方 合計10名
- 参加費 3,500円(教材費・保険料:参加時にお支払いください)
- 申込方法 参加を希望するご本人が電話または来館にてお申込みください。定員になり次第締め切ります。
- 申込受付 令和元年7月24日(水)から受付開始
- 持ち物等 作業ができる服装(エプロン等)
- 申込先 風土記の丘研修センター
甲府市下向山町1271 電話055-266-5286
休館日:月曜日(8月12日(祝)は開館)

